

さんしんニュース

夢★輝く未来へ!!

- 第9回「さんしん夢企業大賞」発表
- 「最優秀賞」「創業部門最優秀賞」
「ものづくり革新賞」「地域創生賞」受賞企業のご紹介
- 「支援機関奨励賞」「優秀賞」受賞企業のご紹介



【第9回】さんしん夢企業大賞発表

「夢企業大賞」は、三島信用金庫の創立100周年記念事業として平成22年に創設されたビジネスプランコンテストで、今回で9回目を迎えました。

静岡県東部・伊豆地域の「優れた技術や製品、商品、サービス」など、新たな取り組みを通じて「地域産業の活性化」「雇用の拡大」といった地域創生につながる事業、ビジネスプランを表彰し、この地域が元気になることを目的としています。

今回新たに、当金庫が営業店を構える市町の商工会議所・商工会・静岡県中小企業団体中央会などの各団体の皆さまに後援をお願いし、募集に関しても多大なるご協力をいただきました。

募集期間は昨年8月19日から10月25日まで、一般部門と創業部門(創業後3年以内の事業者・団体が対象)の2部門で行い、53件の応募をいただきました。

去る1月14日に1次選考(書類選考)を通過した事業者による最終選考会(プレゼンテーション選考)が行われ、学識経験者などからなる有識者9名の選考委員による、様々な視点に基づく厳正な審査の結果、各受賞者が決定しました。

第9回「さんしん夢企業大賞」にご応募いただきました事業者の皆さまに厚く御礼申し上げますとともに、益々のご発展をお祈り申し上げます。



最終選考会場(三島信用金庫本店)



最終審査選考会の様子

最優秀賞

株式会社 コナリゾート

創業部門最優秀賞

株式会社 89hachiku

ものづくり革新賞

進桜電機 株式会社

地域創生賞

株式会社 伊豆おはな

支援機関奨励賞

株式会社 山本食品

eBikeを活用したサイクルツーリズムの宿

サイクリストフレンドリーなホテルで
伊豆周遊の旅をもっと自由に楽しく

伊豆の国市に立地する旅館オーナーから施設売却の話を知り、宿泊者に機動力のあるeBike（電動アシスト付スポーツ自転車）を貸し出すことで、沼津市・三島市・伊豆市等周辺の観光施設等へのアクセスが容易になり、地域内を自由に動けることで、今までになかった新しい旅行体験や宿泊価値を提供できるのではないかと考え、事業を立ち上げました。これまでの宿泊事業のビジネスモデルは、主に「寝る」「食べる」「憩う」ことの差別化で競争力を磨いてきましたが、当社はこれらの価値に加えて「移動」「体験」という付加価値を加えることで、新しいサービスを提供していきたいと考えました。



オリンピック東京2020では伊豆半島で自転車競技が行われ、当社のサービスをPRする絶好の機会ともなります。地方を旅行したいインバウンドにとって、公共交通機関のアクセスが悪いエリアほど自転車による周遊の魅力は高まります。地元への経済波及効果も期待できる地方旅館の再生手法(事業モデル)として社是を「旅館創生」としました。

当宿はB&Bの簡易宿舎(ゲストハウス)としてドミトリータイプ(相部屋)のベッドを3室36床用意しています。相部屋が駄目という方には和室を改装したベッドスタイルの個室もあります。1泊朝食付きを原則とし、夕食は周辺の飲食店とタイアップしたプランの販売やシェアキッチンを提供することで

お客様に選択の自由を提供します。レンタサイクルはもちろん、ガイド付きのサイクルツアーや地域のアクティビティをセットした体験型サイクルツアー等の企画も行い、現在もメニューの充実を図っ



ています。この事業モデルを可能にしているのが「eBike」を組み合わせた点で、昨今のeBike関連の技術革新によって、長距離かつ高性能なモデルが多数発売され始めたという背景があります。高低差のある伊豆地域を初心者が気軽にサイクリング体験できるのは、eBike抜きには考えられません。また宿泊施設とレンタサイクルを組み合わせた例は他地域でも見受けられますが、築50年の古い旅館をフルリノベーションして徹底的にサイクリストフレンドリーなホテルとして、デザインも含め再定義した事例は全国的にも先例がないと思います。スタッフにも自転車整備士の資格取得を促すなど、ハード・ソフト両面で環境整備に努めています。



デザインの力で取り組む、魅力あるまちづくり、地域づくり

自分を育んでくれた地域を
デザインで元気にしたい

大学でデザインを専攻し「自分を育んでくれた地域を、デザインの力で元気にしたい」との思いで、大学4年次に事業を立ち上げ、人の流れやお金の流れを見据え、魅力あるまちづくり、地域づくりに取り組んでいます。



大学2年次に旅館組合さんから依頼を受け「修善寺温泉・恋の橋めぐり」という若年層向けの観光PR事業に携わりました。修善寺温泉の魅力を再認識すると同時に、様々な課題に気づき、自分の学んだデザインの観点から地域の活性化を支えることができるのでは、と考えたことが本事業のきっかけです。



卒業制作で「修善寺燕舎」のビジネスプラン作成から各種グラフィックツールのデザイン、実際の運営に取り組み、大学卒業後も事業を引き継ぎました。デザインというと、パッケージやポスターなどの見

た目のデザインを連想する方が多いですが、実はデザインは「世界の多様なみつめ方や、課題解決の糸口の見つけ方、それに対する解決策を導くためのツール」です。だからこそ、大人の方はもちろん、この先めまぐるしく変わる世界で生きていく子どもたちにも、ぜひデザインを学んで欲しいと思っており、デザインについての講演などにも取り組んでいます。

「修善寺燕舎」としてはオリジナルお土産物の企画・制作・販売から、修善寺温泉内の事業団体や企業を主なクライアントとした各種広告・商品企画・デザイン制作を主業務としています。その他にも、地域在住作家の物販支援や商品プロデュース、外国人観光客に向けた多言語での観光案内(英語)などにも取り組んでいます。



また、新たに温泉場内の空き店舗の活用やイベントスペースの提供なども始めました。レンタルスペース「most8092」では伊豆在住の事業主の活動支援や新規出店者の起業を促すチャレンジショップとしての機能に、デザイン支援を組み合わせています。まだ企画段階ですが、ミニシネマや英会話教室、デザインセミナー・ワークショップなどの自主企画も計画中です。

地域に住む一市民として、高齢化や少子化、景観、観光客減少、観光コンテンツ不足は全て自分ごとです。修善寺の、伊豆の明るい未来に向けて、一步一步自分にできることから、積極的に実行に移していきたいと考えています。

JAXAとの共同開発技術を取り入れたモーター開発と産業界への進出

次世代ロケットエンジン部品
ターボポンプ用モーターの開発

当社は昭和43年、長泉町に特殊型インダクションモーター（誘導電動機）の製造会社として設立されました。モーターメーカーとしての

歴史は古く、昭和16年、三島市に創業した株式会社桜製作所をルーツとしています。創業以来、交流電動機のオーダーメイド品を得意とし、特に高周波



モーター（高速回転モーター）の開発に力を注いできました。現在でもオーダーメイド品（特注品）のモーター電機部（ステーターコイル）製作は全て手作業で行い、女性の技術者たちがこのセクションを担っています。

当社はまた木工機械の心臓部である主軸モーターで世界でもトップクラスの高周波モーターの技術進化を積み重ねてきました。21世紀になると、液晶パネルに必要な厚さ数百ミクロンの薄版ガラスの側面研削加工のスピンドルモーターを世界トップクラスの液晶ガラスメーカーから任されることとなり、現在では世界シェアの60%以上を占めています。

この2つの技術【高速回転の技術】と【低振動・高精度の技術】が認められ、JAXA（宇宙航空研究開発機構）との研究・開発がスタートしました。それが本事業の「次世代の小型ロケットに適用が有力視されるロケット電動ポンプ用インダクションモーターの研究・開発」です。JAXAでは小型ロケットの市場拡大に伴い、ロケットの酸素と水素の燃料を送り出すタービン駆動のターボポンプ方式に替わる、モーター駆動のターボポンプ方式の開発が検討され、各試験装置（軸受高速試験機）など、モーターに関してこれまでの弊社の導入実績が評価されました。

モーター駆動は製造や制御がしやすく、コストも低減が可能で、小型ロケット進展の起爆剤となる駆動方式と期待されています。世の中にない、超高速・高精度なインダクションモーター技術を確立すること、これが今回の共同研究のテーマとなります。また今回の共同研究によるインダクションモ



ーター技術の進展は、これまでの産業界にも応用でき、よりコンパクトでパワー（出力）の高いモーター開発につながります。高精度、超高速のインダクションモーター製作技術をこれら需要に対応することで、市場規模の成長に伴い、需要及び売上増加を見込んでいます。

ワンストップサービスを提供するユニバーサルツーリズム

旅行をあきらめていた方に
もっと自由に伊豆半島の旅を

当社は平成25年、坂や階段が多い熱海市に福祉限定タクシーと訪問介護の事業許可を受け、熱海市では初となる介護保険が適用される介護タクシーとして創業しました。平成28年には患者等搬送事業の認定を受けました。また当社では看護師が常勤で在籍しているため、搬送中に酸素や痰の吸引が必要なケースなどの医療行為が必要な転院搬送についても行うことができ、医療機関からの依頼が増え、現在では年間に延べ4,000人以上の外出困難者の方の通院や、転院などの外出を支えています。そうしたなかで、観光都市・熱海では近年、観光客の方からの依頼も多くいただくようになりました。



そこで私たちは単独で外出が難しい障害を抱えている方、持病や難病を抱えている患者さん、日常的に介護が必要な方などの潜在的な観光ニーズに気づきました。

こうして当社は創業以来培ってきた福祉限定タクシー・訪問介護・患者等搬送事業の経験とノウハウを活かし、「外出に不安を抱える方に対する、必要な情報及び介助を提供することで、旅行に対する不安を除くサービス」を提供することを考えました。

安全で快適なプランを作成・実行することで、今まで伊豆を訪れたいと思っていながらも足が遠のいていた方を呼び込み、伊豆観光の活性化への更なる寄与を目指します。

私どものユニバーサルツーリズムの大きな特徴は、企画から当日の移動手段の提供、必要に応じて入浴介助や食事介助など顧客ニーズに対応した一連の観光サービスをワンストップで展開できること



にあります。顧客への情報提供に関しても、バリアフリー情報を集めて開示できるため、不安なく旅行を楽しんでいただける環境整備が可能。熱海商工会議所青年部などとのつながりを活かし、ホテルや旅館など、他の観光業者との連携を密に、情報共有することで顧客の満足度を高めることもできます。さらに要介護者のケアプランを作成しているケアマネージャーや入院患者さんの相談に応じている病院のソーシャルワーカーとのつながりもあり、令和元年には静岡県から経営革新計画の承認も受けています。高齢化の加速する今日、今後は熱海市内のホテルや旅館、観光施設や飲食店などに対する営業も強化していこう、そして全国的に仲間を増やしていこうと考えています。



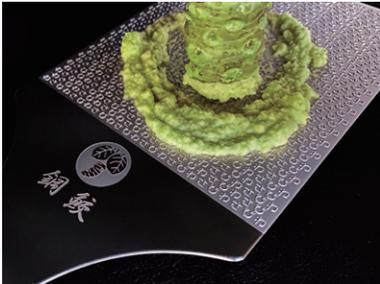
支援機関
奨励賞

株式会社 山本食品

一般部門

<http://www.yamamotofoods.co.jp/>

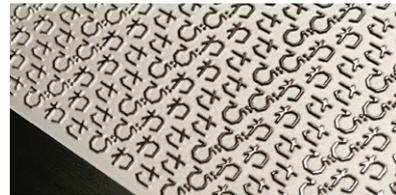
ステンレス製本わさび専用おろし板「鋼鮫」で WASABI を世界へ



創業明治38年、「わさびを、もっと、おもしろく」を経営理念に、老舗のわさび漬等の製造・販売会社としてご愛顧いただく当社・山本食品が開発した本わさび専用おろし板「鋼鮫（はがねざめ）」。本商品は、せっかく高価な「本わさび」を購入いただいても「家ですりおろしたら全然辛くなかった」「思ったより風味が乏しかった」とおっしゃるお客様のご意見から始まりました。

家庭にある金属やプラスチック製の薬味おろし器で強くすりおろすのではなく、わさびは本来「笑いながらすれ」と言われるほど力まず優しく細かにすりおろすことが大切です。そこでどなたがすすめても、寿司屋で味わうようなわさび本来の味を楽しめるおろし器の必要性を強く感じ、この鋼鮫の開発に着手しました。本わさびには、きめの細かい「鮫皮おろし」が理想的とされ、これをステンレス製おろし器で再現したのが、本商品の大きな特徴です。300種類以上の試作を経て、「わさび」というひらがな文字がもっともわさびのすりおろしの仕上がりに優れていると気づいたのが大きなポイントでした。

町工場の高い技術力を背景に、テクニック不要で誰でも本わさび本来の辛みや香りを味わっていただけることが可能となりました。「第4回 夢企業大賞」にて受賞したビジネスモデルが自信となり継続し生まれた商品です。



優秀賞

株式会社 アシウエル

創業部門

<http://ashiwell.com/>

靴小売店承継とフットカウンセリングによる靴と高機能インソールの提供

本事業「靴小売店舗の事業承継をきっかけとした、フットカウンセリングによる靴と高機能インソールの提供」は、オーダーメイドのインソール(靴の中敷き)の販売を業とする(株)アシウエルが、創業半世紀の函南町の靴小売店「シューズハウスオオイシ」を事業承継したことに始まります。

既存店舗の承継は費用の低減が図れるとともに、地域貢献にもなりました。一方で健康増進のための足の補正具「インソール」の販売に着目し創業した当社は、承継した店舗で物販と足爪のケア、高機能オーダーメイドインソールを組み合わせ、キャッシュフローの劇的改善を目指しました。機能性を重視した靴選びを行う際にはデジタル測定器を活用したフットカウンセリングによる、トータルサービスを実現。ファッション性を重視したものや成型一体型のオーダーメイドの靴販売では対応できない客層の取り込みが可能となりました。



また「足の悩みをフットカウンセリングでトータルに解決できる靴屋」として、足のお悩みの中でも対象者の多い、爪と足裏のケアができるフットケア設備を完備、ノルディックウォーキングなどの歩行改善イベントも積極的な開催し、地域の皆様の足の健康を見守ってまいります。



彩り豊かなマリアーージュピクルスの開発と販売



当店の代表者は長年つとめた洋菓子・パン教室の講師経験を活かし、平成 26 年 11 月に自宅にある教室スペースを、手作りジャムと焼き菓子の工房兼直売所として開業。商品は現在、ジャムを主力としており、通年 30 種以上がラインナップされ、地元ブランドである箱根西麓三島野菜（人参、甘藷、トマト等）を使用した

ジャムは一番人気で、「三島ブランド」にも認定されています。

今回私どもが開発したピクルスは、ジャムで培ったマリアーージュ製法（2 品以上の食材を合わせることで風味豊かに仕上げる）を活かし、野菜と果実を食べやすく仕立てることにこだわりました。主に箱根西麓三島野菜など地元野菜と果実を使用し、お土産やギフトとして使用していただくことをメインとした商品設計です。手軽に野菜がとれてヘルシー、保存もきくため、ここ数年で徐々に人気が高まっているピクルスは、季節の嗜好の変化もあり、夏のギフトにも最適な商品です。

コンセプトは「シンプルだけど新しい素材のおいしさをひきたてる彩り豊かなマリアーージュピクルス」。デザートピクルスのような感覚で、果実で野菜を食べやすく提供できるのが大きな魅力です。また、一般的なピクルスとの差別化を図りつつ、おかず系ピクルスなどへ展開していく予定です。



衝突安全性試験用人体ダミーの開発・製造・販売

1985 年以来現在までに使用されている自動車衝突試験用の人体ダミーが、2020 年以降に次世代ダミーとして全面的に新しい、より複雑な斜め衝突での人体安全性の評価用ダミーとして開発が進められています。

現在までに自動車衝突試験用人体ダミーは、アメリカの Hyumanetics 社と、日本の当社ジャスティの 2 社のみで開発競争が行われ、この開発製造も最終段階に入っています。開発の主要な点は、計測装置としての人体ダミーであること。今までの人体ダミー及び米国製人体ダミーは各構成部品が要求範囲内に合格していれば良しとされ、各部品の要求合格範囲の公差内でダミーごとに、硬い首や柔らかい首などの個体差が生じ、再現性や繰り返し性が確保できませんでした。

今回私たちが開発製造した「次世代人体ダミー」正面衝突試験用 THOR50、側面衝突試験用 WorldSID50 は、2020 年から新しい衝突安全性試験規格として欧米が主体となり展開計画を進める中で、より高度な車の安全性評価が可能となるための重要かつ唯一の次世代人体ダミーの誕生となります。それは高度な計測器として、将来的な自動車衝突安全性試験から得られる確かなデータの提供による車の開発に寄与できるものです。



優秀賞

酪農王国 株式会社

一般部門

<https://oratche.com/>

わさびの香りと辛みが味わえる丹那のわさびバターの開発



平成9年、函南町丹那にオープンした酪農王国。オラッチェ牧場を中心に生産者と消費者との交流の場として歩み始めました。「足元に泉あり」をキャッチフレーズに地域資源を活用した様々な事業を展開する中で、丹那地区の酪農家数の減少に歯止めをかけることを最優先に商品開発に取り組みました。6次産業化、地産地消、食育、循環型農業などのキーワードをテーマに、酪農140年の歴史を誇る「丹那牛乳」から作られる自社製造バターと、伊豆天城産

の本わさびの葉をブレンドした新しいフレーバーバターを作りました。

本商品は通常は廃棄されることが多い本わさびの葉を天城地区の農家から買い入れ、乾燥粉末に加工し、自社製造のバターに練り込んで、わさびの香りと辛みが味わえるバターにしています。また近年、丹那牛乳では生乳から脂肪分を取り除いた低脂肪牛乳の生産量が増え、その結果取り出した脂肪分(生クリーム)の余剰が発生。この生クリームを活用すべく開発に取り組んだという側面もあります。「伊豆らしい」商品で、輸出向けにも国内販売向けにも対応可能であること。

他に類似商品がなく、新しい使用法や多彩なメニュー提案が可能なことも大きなメリットです。



優秀賞

医療法人社団 公章会

一般部門

<https://www.igagri.com/>

看護小規模多機能型居宅介護事業所「いがぐりの里」の開設



私共五十嵐クリニックは沼津市南部圏域にあります。当地域は高齢化が進み、全市の高齢化率を大幅に上回り、高脂血症、高血圧、血糖値の高い人々が多く暮らし、健康診断受診率が低い地域であり、これは成人病の合併症や認知症発症のリスクが高い地域であるとも言えます。

当クリニックはそうした現状を憂慮し、医療法人のクリニックと協働し、質の高い看護・介護で切れ目のないサービスを提供する看護小規模多機能型居宅介護事業所「いがぐりの里」を開設しました。

本事業は在宅生活の継続的な自立支援を行うため、看護師、介護士が協働して「通い」「泊まり」「訪問看護」「訪問介護」サービスを一元的に管理し、利用者や家族の状況に即応できるサービスを組み合わせ提供できる仕組みを構築したものです。

当施設は認知症の方ばかりでなく医療ニーズの高い人の、地域での生活継続も目的としており、がんの末期の方や老衰などで自宅等で最期まで暮らしたい方、自宅への退院に自信のない方、人工呼吸器などの医療器具類を使用している方、介護している家族が病気などで介護が不安定な方などの利用が可能。ご家族のレスパイトケアや相談による不安解消なども実現します。

